

2024年度

実施効果報告レポート

【事業者名】

株式会社ロジカ・エデュケーション

【サービス名】

①ロジカ式 for SCHOOL

[オプション：OJT研修パッケージ、スキルアップ研修]

②ステラリア

[オプション：OJT研修パッケージ、スキルアップ研修]

【支援項目】

①授業、授業準備、研修等

②授業、授業準備、部活動・クラブ活動・児童会・生徒会指導

2025年1月

「ロジカ式 for SCHOOL」の概要

- ・ 小学1年生～6年生まで全学年の**教科学習**で利用できるAB分類教材（12コース）と、より深くプログラミングを学べる**基礎学習教材**（24コース）で構成されています。
- ・ 各コースには生徒用のワークシート・アニメ解説動画、AB分類教材には、教員用の**学習指導案**と**授業ガイド**を完備しており、プログラミングの授業運営を**フルサポート**する内容です。
- ・ オプションで、実際に**講師を派遣**して小学校での授業運営を行うサポートも付帯しています。





【プログラミング学習アプリ】

操作しやすく、楽しい専用アプリ「プログラミングゼミ」を使います。ブラウザ版とダウンロード版があり、タブレット・PCいずれにも対応し、分かりやすいブロック構成・平仮名入力と日本の教育現場に合わせて設計されています。

【児童用プリント】

児童が集中できる、ワークシート方式を採用しています。思考を刺激する質問で子どもたちの考える力を養います。

【先生用授業ガイド】

プログラミングに慣れていない先生にも伝わる、細かい授業ガイドがついているので、すぐに授業を行うことが可能で、授業の手間を大幅に削減することができます。

【学習指導案】

主な出版社の教科書のどの単元に対応する内容かがまとめられています。授業の流れに加えて、プログラミングが教科の内容とどのように関係しているかも分かり、児童の評価基準も載せられています。

【先生用及び児童用動画・資料画像】

児童に作らせたプログラムなど、授業の重要な内容が画像になっています。動画は、プログラミングする際のポイントが扱われた先生用解説動画と、理解を深める児童用アニメをご用意しています。

「ステラリア」の概要

・ 東京大学名誉教授である竹内郁雄先生監修のもと、情報 I（22単元）と大学入学共通テスト手順記述標準言語DNCL（6単元）を完全に網羅しており、多くの図解や擬人化したイラストを豊富に使用し、100本を超えるホワイトボードアニメで効果的な学習をサポート。

・ 約800問に及ぶ問題は段階的に難易度が上がるように設計されており、基礎から応用までをカバーしています。さらに最新のAI技術を駆使したチャットサポート・生体反応測定による学習効果分析レポートなども内蔵しており、全国で情報 I の授業に悩んでおられる教職員の業務を強力にサポートします。

・ プログラミングの分野では、DNCLに加えてPython学習も行うことができるため、高校のみならず中学校でのプログラミング教育に頭を抱えておられる教職員の強い味方になります。



変数の中の値と数値による計算のプログラム

```

1  !!DNCL2
2  kazu = 25
3  表示する(kazu + 15)
4  表示する(kazu - 15)
5  表示する(kazu * 15)
6  表示する(kazu / 15)
7
    
```

実行 クリア

v3.3.80

実行ボタンをクリックすると、結果が表示される。

```

40
10
375
1.6666666666666667
    
```

導入実績

- 導入先学校種：小学校・中学校・高等学校
- 学校等教育機関数：31校
(北海道13校、新潟県1校、宮城県1校、長野県4校、東京都1校、大阪府11校)
- 学校等設置者数：10教育委員会
- 導入実証参加者数：11,624名

事例の紹介



OJT研修の様子



学習用アニメ

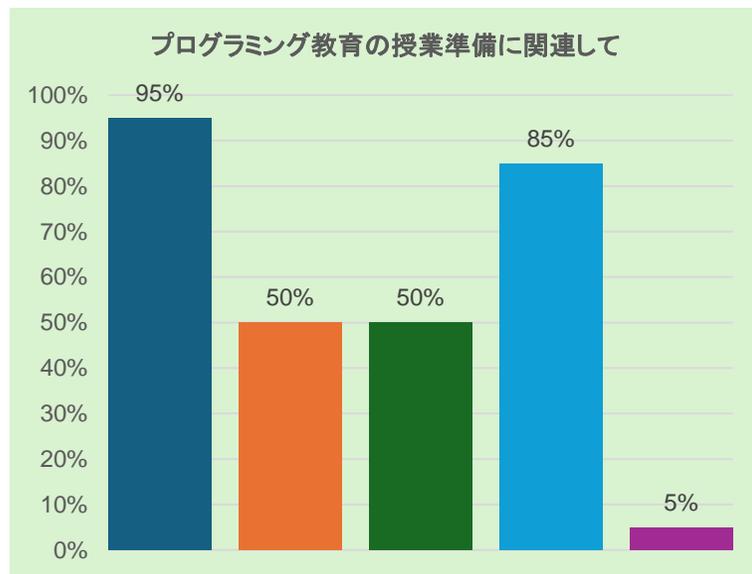


学級便りにも掲載されました!



児童たちも楽しんでくれたようです

サービス導入後の感想とその理由についてのアンケート結果 (forSCHOOL)



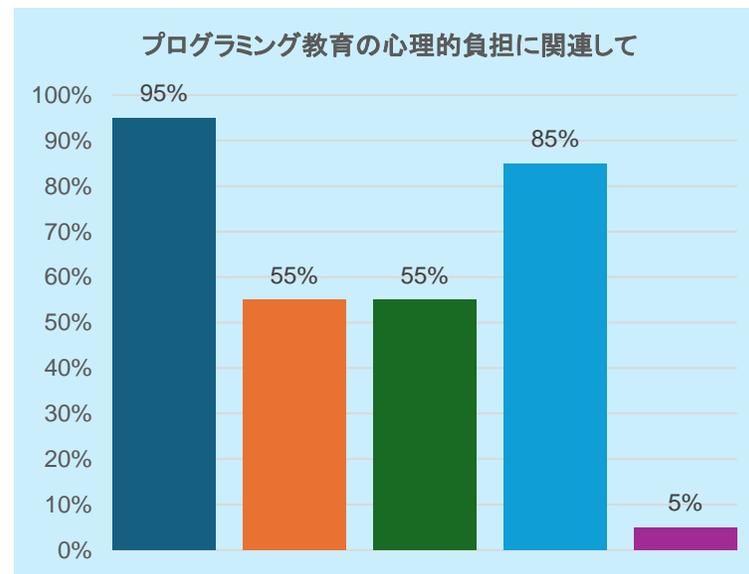
プログラミング教育を実施する上で準備等の時間を削減できた

教科内容の理解が容易になった

指導計画/教材作成が容易/不要になった

教材準備が不要になった

その他



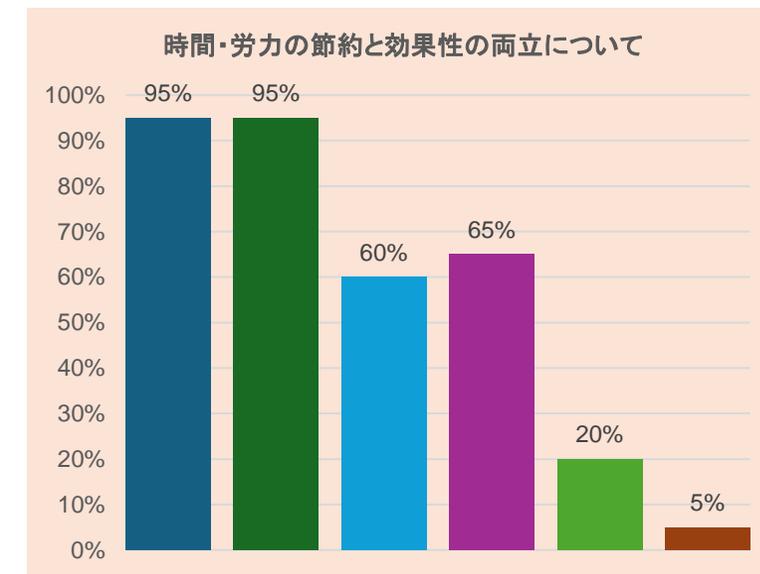
プログラミング教育を実施する上での心理的負担を軽減できた

教科内容の理解が容易になった

指導計画/教材作成が容易/不要になった

教材準備が不要になった

その他



時間・労力の節約と効果的なプログラミング教育の実施の両方が達成できたと思う

プログラミング的思考(論理的思考力)を身につけられる

タブレット/端末の操作スキルを向上できる

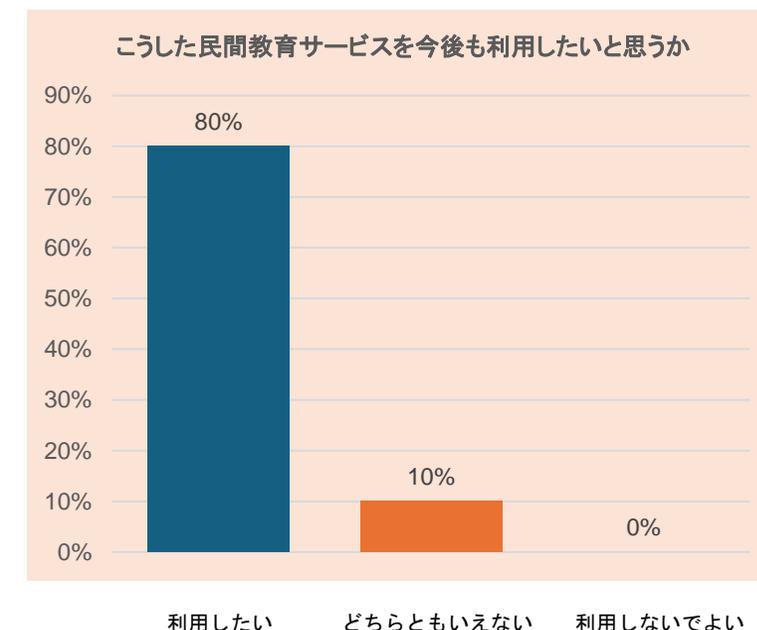
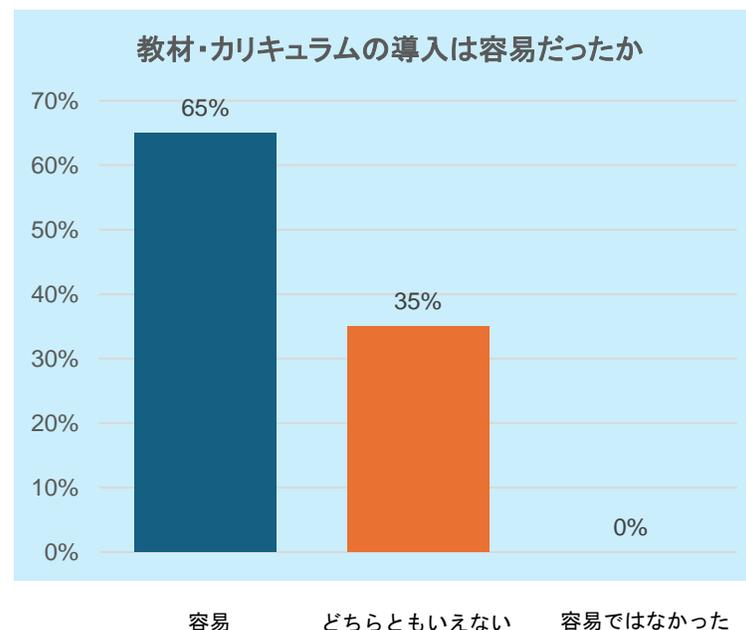
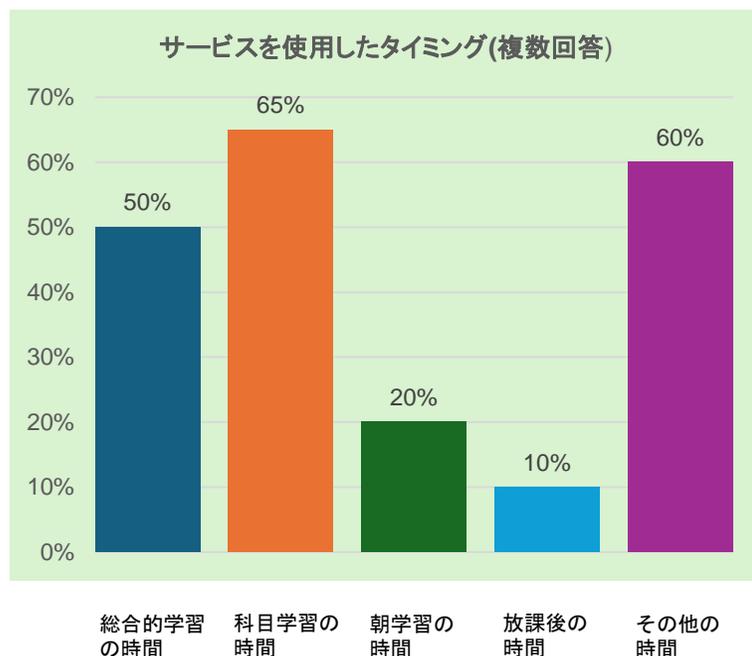
非認知能力(粘り強さ、協調性など)を鍛えられる

その他

あてはまるものがない

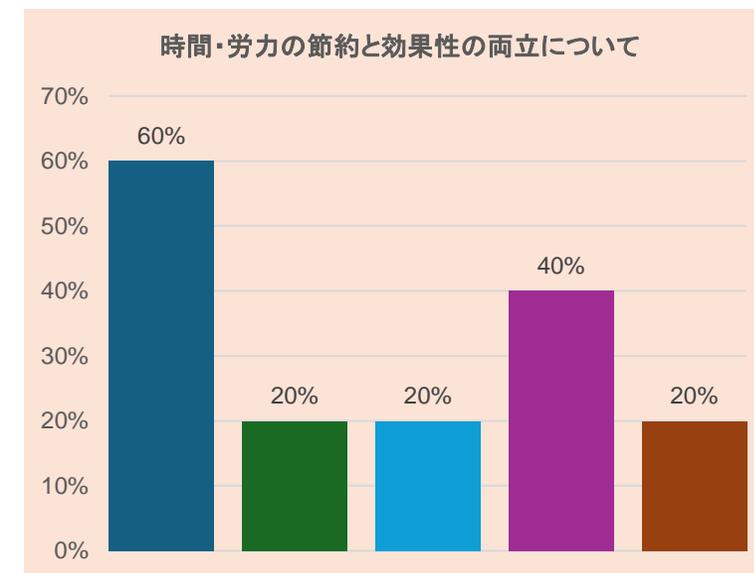
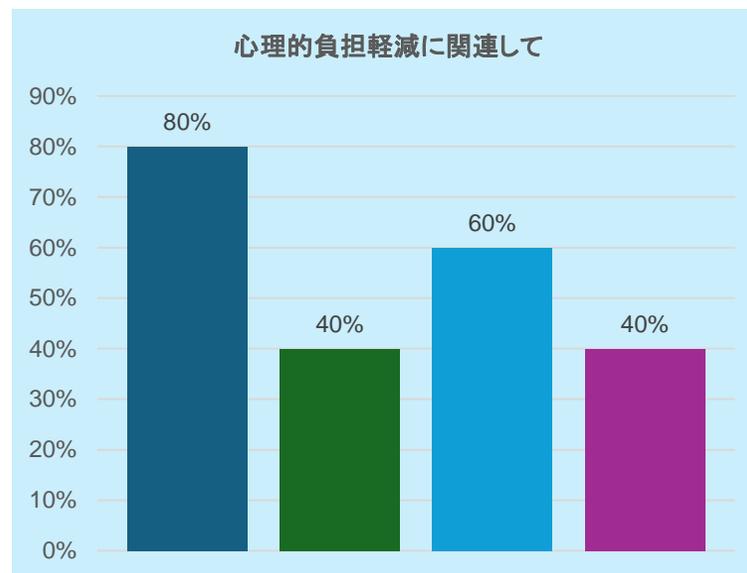
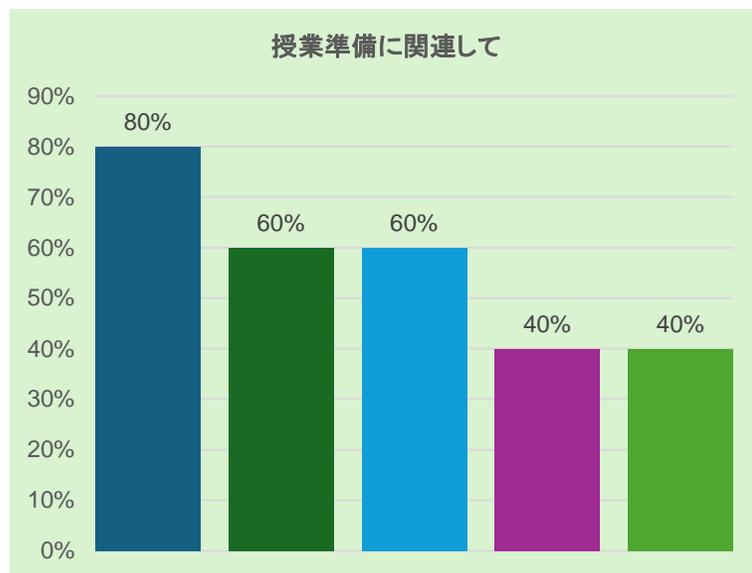
総評：
時間/労力の削減、心理的負担の軽減、効果性との両立について、それぞれの項目で概ね好意的な感想が得られた。「その他」と回答した教員については、導入された教材を使用する機会が殆どなかったというもので、その点を加味すると、教材を使用した教員全員が教材導入の効果を実感していることがわかる。

サービス導入後の感想とその理由についてのアンケート結果 (forSCHOOL)



総評：
 導入については、教科学習の際に取り入れられたことについて好意的な反応が多く見られた。教科学習の中にプログラミング学習を織り込むことで別途プログラミング学習の時間を取り分ける必要が無い教材の作りが、教員の負担軽減にも効果があることが分かる結果となった。
 教材・カリキュラムの導入についても、過半数の教員が容易であると回答した。一方で「どちらともいえない」と回答した教員の多くが理由として「元々ICTの使用に苦手意識がある」ことを挙げた。
 「今後も民間サービスを利用したいか」という問いには80%の教員が「利用したい」と回答した。「どちらともいえない」と回答した教員の全員が理由として、「金額面で折り合うか」という点を挙げている。

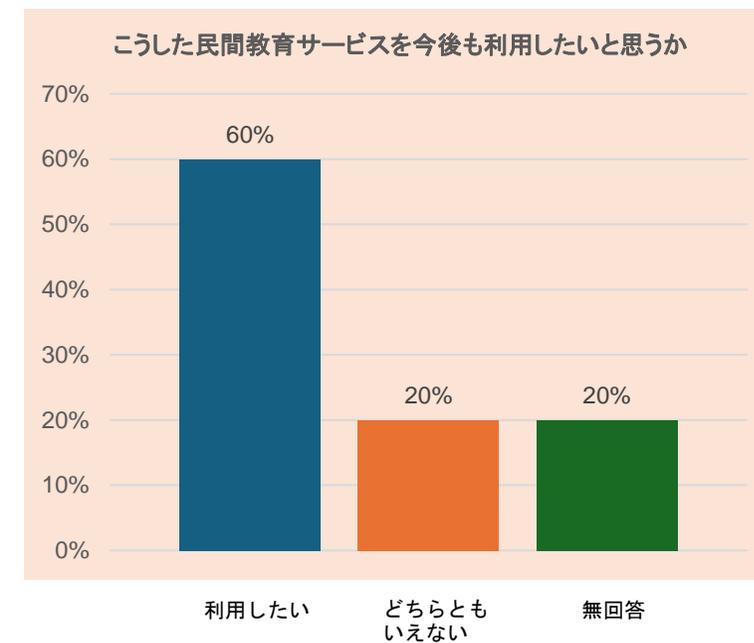
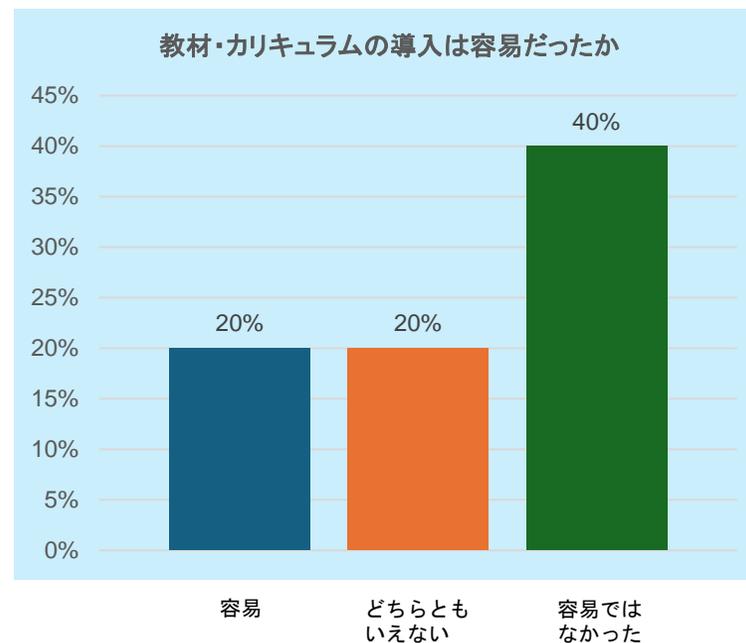
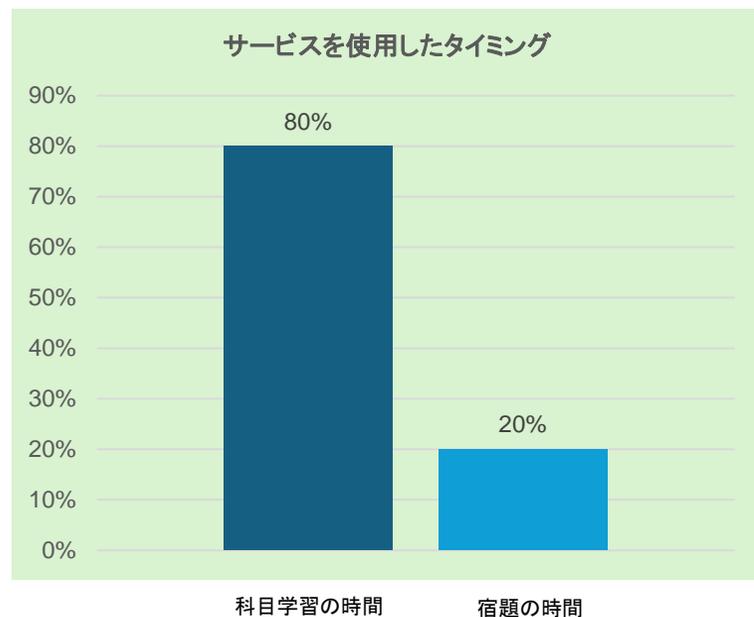
サービス導入後の感想とその理由についてのアンケート結果（ステラリア）



総評：

時間/労力の削減、心理的負担の軽減、効果性との両立について、それぞれの項目で概ね好意的な感想が得られた。「その他」の回答の内容も「生徒達が自ら進んで学習するようになった」「効果までは確認できなかったものの、今後見込めると思う」というもので、ほとんどの教員が教材導入の効果を実感していることがわかる。

サービス導入後の感想とその理由についてのアンケート結果（ステラリア）

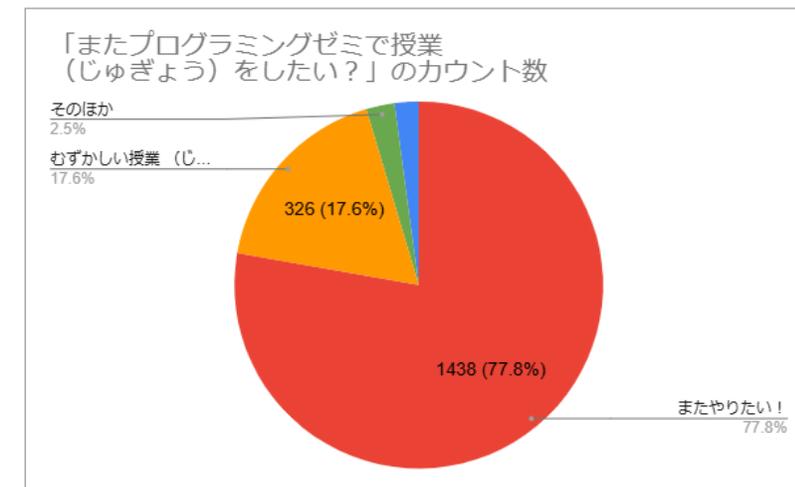
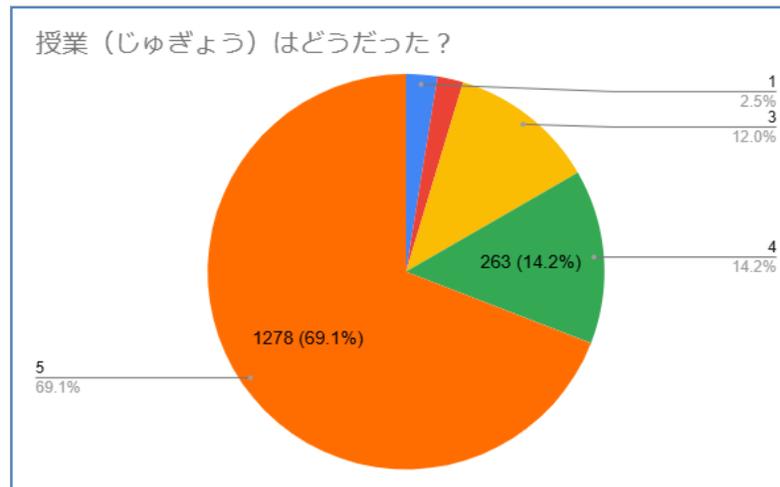
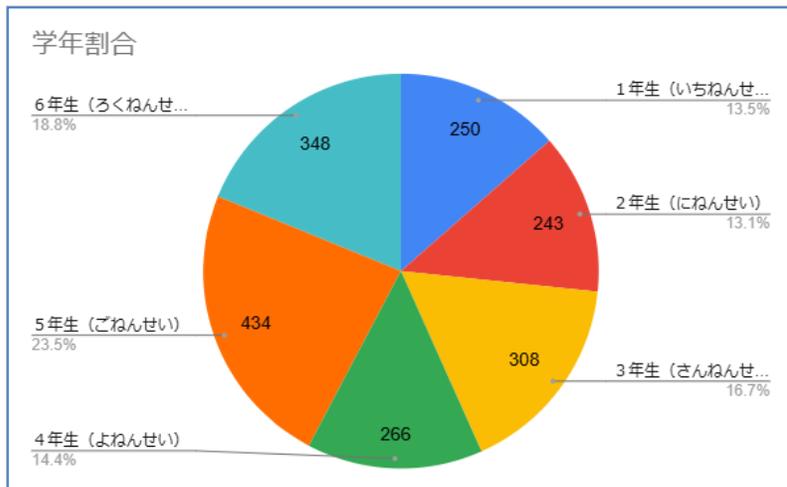


総評：
 導入については、技術の時間に副教材として取り入れたり、生徒の宿題や自主学習のカリキュラムとして取り入れるケースが報告された。授業運営や課題作成の負担軽減に一定の効果があることが分かる結果となった。
 教材・カリキュラムの導入については、「どちらともいえない」「容易ではなかった」と回答した教員が多い結果となったが、理由として「ICTの使用に苦手意識がある」「技術専任の教員がない」ことを挙げた。結果として、専任の教員が不足しているという別の課題が浮き彫りになるものとなった。
 「今後も民間サービスを利用したいか」という問いには60%の教員が「利用したい」と回答した。「どちらともいえない」との回答の理由としては、「民間サービスに合わせた授業作りが必要となる」という点を挙げている。

「ロジカ式 for SCHOOL」 活用後の児童からの評価アンケート

小学 1~6年生児童へのアンケート

・アンケート回答数：1849名



難しかった(1)~楽しかった(5)の5段階評価
評価4と5の割合が**83.3%**

- ・またやりたい！ (77.8%)
- ・もっと難しい授業をやってみたい！ (17.6%)
- ・やりたくない (2.1%)

課題：

- 学校現場のICT環境や端末の性能が、学校や自治体ごとにばらつきがある
- 教育委員会から、環境設定等のための準備の協力が得られないことがある
- 中・大規模自治体になると、民間サービス導入に係る手続きがかなり煩雑になる
- 新たな取り組みを取り入れる事自体に苦手意識がある

改善策：

- 授業準備等に係る手続きの見直し（導入手続き・付与手順の簡素化等）
- 教職員向けの勉強会など、別途ICT教育への苦手意識払拭の取り組みを組み込む
- 事業案内を前年度から実施し、年度開始時から予定に組み込めるようにする

教職員からのコメント

学習したい内容のホワイトボードアニメがあり授業で使いやすかった（大阪府/中学校）

生徒がどこでつまづいているのかを分かりやすく見る事ができた（大阪府/中学校）

生徒達が自ら進んで学習するようになった（宮城県/高等学校）

プログラミング学習を各自のペースで自学自習形式で進める点良かった（宮城県/高等学校）

授業中にホワイトボードアニメを流し、深い理解につなげることができた。生徒も楽しんでいた（新潟県/中学校）

指導案もついており、一から教材研究する必要なくなったことや、テキストがついていることで印刷準備も必要なくなった（北海道/小学校）

学びを自分で選択し、実態に応じた教材で学ぶことができた（北海道/小学校）

教科指導の中でプログラミング教育を取り入れることができた（北海道/小学校）

隙間時間で子どもが自主的にプログラミング的思考を育むことができる。プログラミング教育のA・B分類はもちろんのこと、他の部分でも活用できる。家庭学習や長期休暇の学習としても取り組むことができる。（北海道/小学校）

音楽のリズムづくりや国語の「おおきなかぶ」の指導については学校でも好評であった（北海道/小学校）

算数の教科書に位置付けられている「プログラミング」の部分をロジカ式に置き換えた（長野県/小学校）

- 商号 : 株式会社ロジカ・エデュケーション
- 代表者 : 代表取締役CEO 関 愛
- 設立 : 2018年11月
- 住所 : 大阪府池田市室町4-49 COZY室町1 F
- 資本金 : 6265万円
- 取引先 : NEC・日教販・共同通信・富士通・LINE・DeNA・JTB・Osaka Metro
- 従業員数 : 15名
- 事業内容 : プログラミング教材開発・プログラミング教室FC

